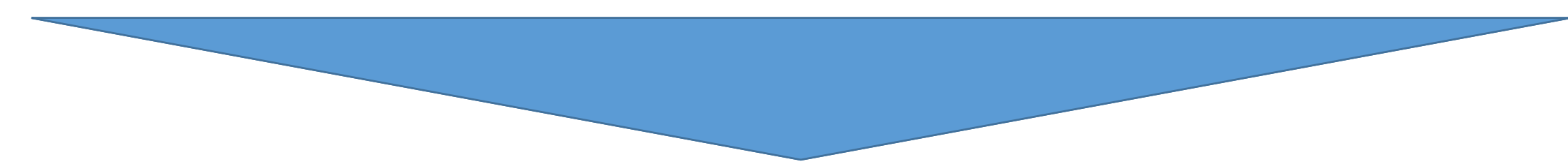


全国及び岡山県学力・学習状況調査結果の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p>〈成果〉 ○国語科では多くの学年で全国平均を上回った。6年生はA問題・B問題ともに全国平均を上回った。 ○算数科では半数以上の学年で全国平均を上回った。 ○無回答率も全体的に低く、問題に対して根気強く取り組む姿勢が見られる。</p> <p>〈課題〉 ①自分の考えを友達に説明したり、文章に書いたりすることに苦手意識をもっている児童がいる。 ②算数科では、図や表、文章から必要情報を読み取ることが苦手である。 ③既習の学習内容を忘れてしまい、定着できていない所がある。</p>	<p>〈成果〉 ○家庭学習が定着化している。(宿題の提出率) ○自己肯定感が高く、将来の夢や希望をもっている。 ○起床、就寝、朝ご飯などの基本的な生活習慣が身に付いている。</p> <p>〈課題〉 ④地域や社会の出来事への興味関心が低下している。地域の行事には参加しているが、地域のために自分たちが今後どうすべきかへの意識は低い。 ⑤読書や新聞を読む時間が少ない。(テレビやスマホなどではニュースを見ている) ⑥自主学習への取組に偏りがあり、全体に広がっていきにくい。</p>



改 善 策
<p style="text-align: center;">学 校 で の 取 組</p> <p>①テーマを決めた作文に取り組むことや、授業中にペア、グループでの学習を取り入れたり、自分の考えをまとめ、発表する時間を確保したりすることで自信をもって表現できるようにする。 ②算数科だけでなく、国語科・社会科・理科等の教科においても、長文問題や資料から読み取る問題に取り組む時間を確保する。 ③補充学習(竹小ぐんぐんタイム:余剰時間を活用してのプリント学習。進度は個々で異なる。)を計画的に進め、全学年までの復習をし、定着を図る。 ④生活科や総合的な学習の時間、学校行事などを通して、地域の人や物に触れ合い、自分たちの住んでいる地域に対して郷土愛がもてるようにする。 ⑤朝読書や家庭と連携するファミリー読書、図書委員会主体の読書推進活動に取り組んだり、スピーチや国語科の発表に新聞記事を活用したりすることで、読書量を増やす。 ⑥「まなびの木」(学習した教科により、シールを貼っていく)の取組や、参考になる自主勉強ノートの紹介を全校で行うことにより、自主学習に対する意欲の向上を図る。</p>
<p style="text-align: center;">中 学 校 区 で の 取 組</p> <p>○中学校の試験期間に合わせた家庭学習頑張り週間を設定し、統一した頑張りカードを活用して家庭学習の充実を進める。 ○小小連携や小中連携の授業を実施し、横のつながり、縦のつながりを強め、より円滑に安心して中学校への進学ができるようにする。 ○中学校区統一の無言清掃の取組、あいさつ運動を推進する</p>
<p style="text-align: center;">家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い</p> <p>○家庭学習の手引きを参考にし、家庭学習についてのアドバイスや励ましをお願いします。 ○家庭でのメディアルールを作成し(見直し)、テレビやゲーム、スマートフォンの使用時間を一日2時間以内に短縮するようにお願いします。 ○就寝時間、起床時間を決めるなど規則正しい生活習慣の継続、読書の習慣の確立やあいさつカードへの協力をお願いします。 ○地域行事への積極的な参加を促してください。</p>